

令和7年度

小 学 校

(解答はすべて解答用紙に記入すること)

この試験問題は持ち帰ることができます。

なお、本問題で利用した著作物は、著作権法第36条により、
試験の目的上必要と認められる限度において複製したものです。

同目的以外の利用はできません。

(長野県教育委員会)

受験 番号						氏 名	
----------	--	--	--	--	--	--------	--

〔問一〕(二) 次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。

(注) *問題作成上一部省略した箇所がある。
(苦野一徳 読書は僕たちをグーグルマップにする)

- ① ——— 線部 a ～ d について、漢字は読み方をひらがなで書きなさい。また、カタカナは漢字に直し、楷書で書きなさい。
〔 a ク b 摩天楼 c トウタツ d 洞察 〕
- ② 空欄 あ に当てはまる最も適切な言葉を、同じ段落から抜き出して書きなさい。
- ③ ——— 線部ア「グーグルマップやレントゲンの比喩」とあるが、どのようなことを喩えているか。本文中の言葉を用いて四十字以内で書きなさい。
- ④ ——— 線部イ「自信もまた手に入れることができるはず」とあるが「自信」以外に手に入れられるものを本文中から十六字で抜き出して書きなさい。

表【知識及び技能】(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

	(小)第1学年及び第2学年	(小)第3学年及び第4学年	(小)第5学年及び第6学年
言葉	オ ① を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句の ② があることに気付き、言葉を豊かにすること。	オ 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句の ② があることを理解し、言葉を豊かにすること。	オ ③ に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、言葉を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。

- A 場面 B 心情 C 順序 D 思考 E 論理
 F 身近なこと G まとまり H 多様性

(二) 次の表は「小学校学習指導要領解説 国語編」(平成二十九年七月)付録4「教科の目標、各学年の目標及び内容の系統表(小・中学校国語科)」で「知識及び技能」(1)言葉の特徴や使い方に関する事項について示されたものの一部である。表の中の ① ～ ③ に入る適切な語句を、A～Hの語群から選び、記号で書きなさい。

(小 3)

〔問2〕 次の問いに答えなさい。

(1) 各問いに答えなさい。

① 資料は、日本の工業地帯、工業地域の製造品出荷額等の構成を表したものである。資料のア～ウは、阪神工業地帯、瀬戸内工業地域、北関東工業地域のいずれかである。各工業地帯、地域の製造品出荷額等の構成を表すものとして適切なものを、資料のア～ウから1つずつ選び、記号を書きなさい。

資料 工業地帯、工業地域の製造品出荷額等の構成 (2019年)

② 工業地帯のうち、東京都・神奈川県・埼玉県にまたがる日本有数の工業地帯の名称を書きなさい。

③ 資料にかかわって、重化学工業に属する工業を次のア～オからすべて選び、記号を書きなさい。

ア 金属	イ 機械	ウ 化学
エ 食料品	オ 繊維	

(「日本国勢図会 2022/23」より作成)

(2) 次の文を読んで、各問いに答えなさい。

足利義満は、1401(応永8)年、明に使者を派遣して、皇帝から日本国王と認められた。そこで、(あ)を携帯する船だけの貿易が許され、1404(応永11)年以降、朝貢形式の(あ)貿易を行った。商業の発展で、各地の港や寺社の門前では都市が発展した。なかでも、a応仁の乱から復興した京都では(い)と呼ばれる富裕な商工業者たちが寄合を開いて町の自治を行った。

① (あ)に当てはまる最も適切な語句を、漢字2字で書きなさい。

② (い)に当てはまる最も適切な語句を、次のア～オから1つ選び、記号を書きなさい。

[ア 馬借 イ 株仲間 ウ 名主 エ 町衆 オ 五人組]

③ 下線部aの後に起こった次のア～エの出来事を、年代の古い順に並べ替え、左から順に記号を書きなさい。

ア 山城の国一揆が起こる。	イ 文禄の役が起こる。
ウ 室町幕府が滅びる。	エ 桶狭間の戦いが起こる。

(3) 日本国憲法第26条について、各問いに答えなさい。

① 次の(う)、(え)に当てはまる適切な語句を、日本国憲法の条文に即して書きなさい。

第26条② すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に(う)を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを(え)とする。

② 憲法第26条にかかわって、憲法の理念を受けて、教育の目的を明示し、国などに教育制度の維持とその条件整備を義務付けた法律を何というか、書きなさい。

(4) 「小学校学習指導要領」(平成29年告示)第2章 第2節 社会 第2 各学年の目標及び内容に即して、(お)～(き)に当てはまる適切な語句を、それぞれ書きなさい。

〔第3学年〕

1 目標

(略)

(1) 身近な地域や市区町村の地理的環境、地域の安全を守るための諸活動や地域の産業と消費生活の様子、地域の様子の移り変わりについて、(お)との関連を踏まえて理解するとともに、調査活動、地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

(2) 社会的事象の特色や相互の関連、意味を考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を(か)・(き)する力、考えたことや(か)・(き)したことを表現する力を養う。

(3) (略)

〔問3〕 次の問いに答えなさい。

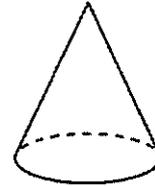
(1) $\sqrt{8} - \frac{3}{\sqrt{2}} + 5$ を計算しなさい。

(2) 図1は、底面の半径が4cm、母線の長さが10cmの円錐の見取図である。

図1

このとき、側面の展開図のおうぎ形の中心角を求めなさい。

ただし、円周率は π とする。



(3) ある店で、同じ定価のTシャツを2枚以上まとめて買うと、1枚目のTシャツは定価のままであるが、2枚目のTシャツは定価の2割引きとなり、3枚目以降のTシャツは定価の3割引きとなる。

太郎さんは、この店で同じ定価のTシャツを4枚買ったところ、4枚のTシャツを定価で買うよりも、代金の合計が1600円安くなった。太郎さんが買ったTシャツ1枚の定価はいくらか求めなさい。

なお、消費税については考えないものとする。

(4) 図2のように、座標平面上に3点A(18, 0), B(0, 4), C(15, 4)がある。

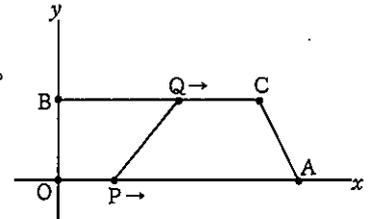
点Pは、毎秒2cmの速さで、x軸上を原点OからAまで動く。

点Qは、毎秒3cmの速さで、線分BC上をBからCまで動き、その後CからBに戻る。

点P, Qが同時に出発してからt秒後の図形OPQBの面積をSとしたとき、

$0 \leq t \leq 5$ のときの面積Sをtの式で表しなさい。

図2



(5) 花子さんの小学校で、5年生の児童50人が、100点満点のゲーム大会を行った。図3は、その50人の得点を表したヒストグラムである。さらに花子さんは、図3で表したヒストグラムについて、階級の幅を変えて、図4のヒストグラムに表した。

図3と図4からわかることについて、正しいものを次のア～エから1つ選び、記号で書きなさい。

図3

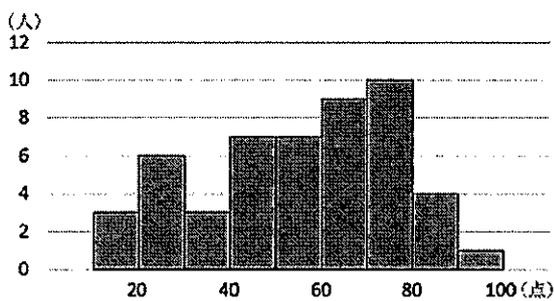
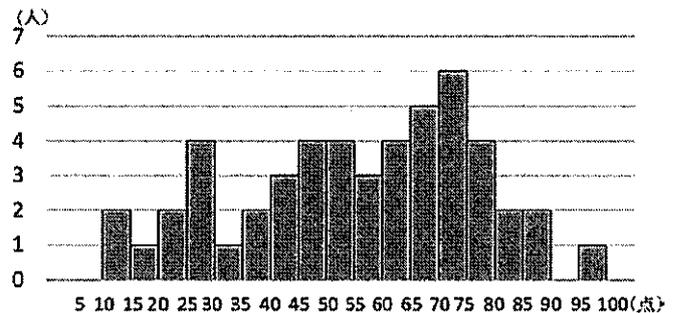


図4



- ア 図3と図4では、読みとることができる80点以上の得点者の人数は異なる。
- イ 図3と図4では、階級の幅は異なるが、最頻値は変わらない。
- ウ 図3では50点以上60点未満、図4では55点以上60点未満の階級に中央値がふくまれている。
- エ 図3と図4では、50点未満の相対度数は異なる。

【問4】 図1は、地球の北極側からみたときの月と太陽の位置関係を示している。次の問いに答えなさい。

(1) 日食と月食に興味をもった太郎さんと花子さんは次のような会話をした。

太郎：日食や月食が起こるときの、地球、月、太陽はどう並んでいるの？ 図1
 花子：日食は、地球、, の順に一直線上に並んだときに起こるんだよ。
 月食は、, , 太陽の順に一直線上に並んだときに起こるんだよ。
 太郎：じゃあ、月の満ち欠けは、どのようにして起こるの？
 花子：月が地球のまわりを公転していて、地球、月、太陽の位置関係が変わり、太陽の光を反射している部分の見え方が変化するから、満ち欠けするんだよ。

① 上の文中の ~ にあてはまる天体の組み合わせとして最も適切なものを、次のア~エの中から1つ選び、記号を書きなさい。

- [ア [i. 太陽 ii. 月 iii. 地球 iv. 月] イ [i. 太陽 ii. 月 iii. 月 iv. 地球]
 ウ [i. 月 ii. 太陽 iii. 地球 iv. 月] エ [i. 月 ii. 太陽 iii. 月 iv. 地球]]

② 日本のある地点で、午後6時ごろ、南の空に月を見ることができた。このときの月の位置を図1のA~Dの中から1つ選び、記号を書きなさい。また、このとき、見える月の形として最も適切なものを、次のア~エの中から1つ選び、記号を書きなさい。

- [ア  イ  ウ  エ ]

(2) 多くの物質は、温度によって固体、液体、気体と、その状態が変化する。表1は実験室における物質A~Cの融点と沸点を示したものである。物質A~Cは窒素、エタノール、水のいずれかである。ただし、これらの物質の状態は1気圧のもとで考えるものとする。

表1

物質	A	B	C
融点 [°C]	-210	-115	0
沸点 [°C]	-196	78	100

① 実験室で、物質A、B、Cの温度をそれぞれ-20°Cから50°Cに変化させたとき、その間、状態が液体のままである物質はどれか、A~Cの中から選び、記号を書きなさい。

② 物質の状態変化に関する説明として最も適切なものを、次のア~エの中から1つ選び、記号を書きなさい。

- [ア 純粋な物質が沸騰している間、物質の温度は一定の割合で上がり続ける。
 イ 融点は物質の種類に関係なく、物質の質量によって決まっている。
 ウ 固体は液体になってから気体になり、固体から直接気体になる物質はない。
 エ 物質が状態変化するとき、状態や体積は変化するが、質量は変化しない。]

(3) だ液に含まれる消化酵素のはたらきと温度との関係について調べるために、次の実験を行った。

【実験】

3本の試験管a~cにデンプン溶液を入れ、試験管aとbは40°C、試験管cは0°Cに保ち、試験管aには水を、試験管bとcにはだ液を加えた。その後も、試験管aとbは40°C、試験管cは0°Cに温度を保ち続け、10分後にヨウ素液を加えて色の変化を観察した。表2は、その結果をまとめたものである。

表2

試験管	a	b	c
温度 [°C]	40	40	0
加えた液	水	だ液	だ液
色の変化	青紫色	変化なし	青紫色

① 実験の結果をまとめた表2をもとに考察した。次の文中の , に入る言葉として、最も適切なものを、下のア~ウの中からそれぞれ1つ選び、記号を書きなさい。

- の結果を比較することで、だ液のはたらきでデンプンがなくなることがわかった。
 の結果を比較することで、だ液のはたらきは、温度の影響を受けることがわかった。
 [ア 試験管aと試験管b イ 試験管bと試験管c ウ 試験管aと試験管c]

② 表2で、試験管bの結果が得られたのは、だ液に含まれる消化酵素のはたらきによるものである。この消化酵素の名称を書きなさい。

(4) 静電気の性質を調べるために、発泡ポリスチレンの小球をさまざまな布でこすって糸でつるした。小球aを布A、小球bを布Bでこすったときは図2のようになり、小球bを布B、小球cを布Cでこすったときは図3のようになった。

図2

① 小球aをこすった布Aと同じ種類の電気を帯びているのは、どの小球か、a~cの中からすべて選び、記号を書きなさい。

② 静電気が原因で起こる現象はどれか、最も適切なものを次のア~エの中から1つ選び、記号を書きなさい。

図3

- [ア 地球上で、方位磁針のN極は北をさす。
 イ 鉄くぎに巻いたコイルに電流を流すと、電磁石になる。
 ウ 積乱雲の中で雷が発生する。
 エ 豆電球に電流を流すと、豆電球が光る。]

【問5】 次の問いに答えなさい。

下の楽譜は「小学校学習指導要領」（平成29年3月）第2章 第6節 音楽 に示された、ある共通教材の一部である。

〔注意：声に出して歌ったり、音を立てて拍子を取ったりしないこと〕

♩ = 100~108 ← A

な つ も ち か づ く は ち じ ゅ う は ち や

ア ↓

の に も や ま に も わ か ば が し げ る

イ ↓

B

- (1) この曲の曲名を書きなさい。
- (2) この曲が共通教材として取り上げられている学年を書きなさい。
- (3) 「小学校学習指導要領」（平成29年3月）第2章 第6節 音楽 に示されている共通教材で、この曲が取り上げられている学年の共通教材の中から、この曲以外の曲名を2つ書きなさい。
- (4) この曲は何長調の曲か書きなさい。
- (5) Aで示されている速度の指示に合うように解答欄に数や言葉を書きなさい。
- (6) Bで示されている休符の名称を書きなさい。
- (7) 楽譜中のア、イの音をソプラノリコーダー（バロック式）で演奏する際の正しい運指を、次のあ～おから1つずつ選び、それぞれ記号を書きなさい。

(小 7)

〔問6〕 次の問いに答えなさい。

- (1) 「小学校学習指導要領」を読み、指導する内容を明確にした。次の（あ）～（う）に当てはまる語句を、「小学校学習指導要領」（平成29年3月）第2章 第7節 図画工作 第2 各学年の目標及び内容 に即して、それぞれ書きなさい。

〔第3学年及び第4学年〕

2 内容

A 表現

- (1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア (略)

イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、（あ）から、表したいことを見付けることや、表したいことや（い）などを考え、形や色、（う）などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。

- (2) 児童が用いるのこぎりの取扱いについて、次の問いに答えなさい。

- ① 両刃のこぎりの刃は、右の図のよう **横引き刃** **縦引き刃**

に、横引き刃と縦引き刃がある。右の図の板を、a、b、cの線で切断しようとするとき、どちらの刃を使用すべきか、a、b、cのそれぞれについて書きなさい。

- ② 木を切る際、右の図のような器具を使用し、木をはさんで木を固定することができる。この固定する器具の名前を書きなさい。

- ③ 一般的に用いられるきりには、

右の図のように四つ目ぎりと三つ目ぎりがある。

四つ目ぎり

三つ目ぎり

「深い穴や木ねじをねじこむための下穴をあけるとき」、「小さい穴や釘の下穴をあけるとき」の

それぞれで用いるものの組合せとして最も適切なものを、下の表のあ～えから選び、記号を書きなさい。

	深い穴や木ねじをねじこむための下穴をあけるとき	小さい穴や釘の下穴をあけるとき
あ	三つ目ぎり	三つ目ぎり
い	三つ目ぎり	四つ目ぎり
う	四つ目ぎり	三つ目ぎり
え	四つ目ぎり	四つ目ぎり

【問7】 次の問いに答えなさい。

- (1) 次は、「小学校学習指導要領解説 体育編」(平成29年7月)第2章 第2節 [第3学年及び第4学年] 2内容 B 器械運動 (1)知識及び技能 ウ 跳び箱運動 ◎運動が苦手な児童への配慮の例である。次の(あ)，(い)に当てはまる語句を書きなさい。

・(あ)が苦手な児童には、マットを数枚重ねた場で前転したり、マット上にテープなどで跳び箱と同じ幅にラインを引いて、速さのある前転をしたり、真っ直ぐ回転する前転をしたりして、(い)を上げて回転する動きが身に付くようにするなどの配慮をする。

- (2) 「小学校学習指導要領解説 体育編」(平成29年7月)第2章 第2節 [第3学年及び第4学年] 2内容 G 保健 (2)体の発育・発達 ア知識 (イ)思春期の体の変化 に即して、次の文の(う)，(え)に当てはまる語句を書きなさい。

(イ) 思春期の体の変化

- ㉞ 思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの、男子はがっしりした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど、男女の特徴が現れることを理解できるようにする。
- ㉟ 思春期には、初経、(う)、変声、発毛が起こり、また、異性への関心も芽生えることについて理解できるようにする。さらに、これらは、(え)があるものの、大人の体に近づく現象であることを理解できるようにする。

略

【問8】 次の各問いに答えなさい。

- (1) 次に示す「取扱い表示」で、「平干しがよい」ことを示しているのはア～ウのうちどれか。記号で書きなさい。

ア

イ

ウ

- (2) 次のグラフは、大豆に含まれる成分の割合を示している。Aに当てはまる栄養素を書きなさい。

日本食品標準成分表(八訂)増補2023年より

- (3) 「小学校学習指導要領(平成29年3月)」第2章 第8節 家庭 第2 各学年の内容 1 内容 B 衣食住の生活 (3) 栄養を考えた食事 に即して、次の(B)，(C)に当てはまる語句を書きなさい。

(3) 栄養を考えた食事

ア 次のような知識を身に付けること。

- (ア) 体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解すること。
- (イ) 食品の栄養的な特徴が分かり、(B)や食品を組み合わせるとる必要があることを理解すること。
- (ウ) 献立を構成する要素が分かり、(C)の献立作成の方法について理解すること。

イ (C)の献立について栄養のバランスを考え、工夫すること。

(小 9)

【問9】 次の問いに答えなさい。

(1) 「小学校学習指導要領」(平成29年3月)に即して答えなさい。下記は、第2章 第10節 外国語 第2 各言語の目標及び内容等 英語 1 目標 の一部である。(①)と(②)に入る適切な語を、下記のA~Eから1つずつ選び、記号を書きなさい。

(2) 読むこと

ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。

イ (①)で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。

(3) 話すこと〔やり取り〕

ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。

イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。

ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて(②)質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。

A 練習

B 言語活動

C 音声

D 関連した

E その場で

(2) ()内の語に不足している語を補い、会話が成り立つように適切な英語を書きなさい。

<飲食店での店員と客の対話>

A: (like)?

B: I'd like pizza. How much is it?

A: It's two hundred yen.

(3) 教師が小学校6年生の児童と以下のようなやり取りを行った。児童の発言を参考に、教師が話す内容として想定される英語を(①)と(②)にそれぞれ4語で書きなさい。ただし、短縮形(I'mやdon'tなど)は1語と数え、符号(.や?などは)は語数に含めません。

(例) No. I'm. not. 【3語】

[夏休み後の外国語の授業での教師と児童のやり取り]

教師: I went to Tokyo in summer vacation. How about you? Where did you go?

児童: I went to Tokyo.

教師: Oh, (①), too. (②) in Tokyo?

児童: I met my grandmother.

【問10】 次の問いに答えなさい。

「小学校プログラミング教育の手引(第三版)」(令和2年2月 文部科学省)に即して、次のア~エに当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。

第2章 小学校プログラミング教育で育む力

(3) プログラミング的思考と情報活用能力

(略)

そして、学習指導要領解説総則編においては、「情報活用能力」は、学習活動において必要に応じてコンピュータ等の情報手段を適切に用いて、情報を得たり、(ア)・比較したり、発信・伝達したり、保存・(イ)したりといったことができる力であり、さらに、このような学習活動に必要な情報手段の基本的な(ウ)や、プログラミング的思考、(エ)、情報セキュリティ等に関する資質・能力も含むものとしています。

受験 番号						氏 名	
----------	--	--	--	--	--	--------	--

解 答 例

令和7年度

小学校解答用紙

得 点	
--------	--

〔問2〕社会 (2)③2点 他各1点 計15点

(1)	①	阪神	ウ	瀬戸内	ア	北関東	イ
	②	京浜 工業地帯	③	ア, イ, ウ			
(2)	①	勤合	②	エ	③	ア→ エ→ ウ→ イ	
(3)	①	う 普通教育	え	無償	②	教育基本法	
(4)	お	人々の生活	か	選択	き	判断	

〔問3〕算数 各3点 計15点

(1)	$\frac{\sqrt{2}}{2} + 5$	(2)	144 °	(3)	2000円
(4)	$s = 10t$	(5)	ウ		

〔問4〕理科 (1)②各1点 (3)①②各1点 他各2点 計15点

(1)	①	エ	②	月の位置	A	月の形	イ	(2)	①	B	②	エ
(3)	①	X ア	Y	イ	②	アミラーゼ						
(4)	①	b c	②	ウ								

〔問5〕音楽 各1点 計8点

(1)	茶つみ	(2)	小学校第 3 学年
(3)	「ふじ山」「春の小川」「うさぎ」から2つ	(4)	ト 長調
(5)	1 分間に 四分音符 を100~108個打つ速さで演奏する。		
(6)	四分休符	(7)	ア い イ え

〔問6〕図画工作 各1点 計8点

(1)	あ	見たこと	い	用途	う	材料
	①	a 横引き刃	b	横引き刃	c	縦引き刃
(2)	③	万力				
	③	い				

〔問7〕体育 各2点 計8点

(1)	あ	台上前転	い	腰
(2)	う	精通	え	個人差

〔問8〕家庭 各1点 計4点

(1)	イ	(2)	たんぱく質
(3)	B 料理	C	1食分

〔問9〕外国語活動・外国語 (1)各1点 (2)(3)各2点 計8点

(1)	①	C	②	E	(2)	What would you like
(3)	①	you..... went..... to..... Tokyo..... (4語)				
	③	What..... did..... you..... do..... (4語)				

〔問10〕小学校プログラミング教育 各1点 計4点

ア	整理	イ	共有	ウ	操作技能	エ	情報モラル
---	----	---	----	---	------	---	-------

(二)	(一)				
①	④	③	②	①	
F	人	り	大	自由	a
	生	、	量		繰
②	の	世	の		
G	難	界	読	自由	b
	題	の	書		繰
③	を	見	に		
D	解	え	よ	繰	またんろう
	決	方	り		繰
	す	も	、		
	る	変	全	繰	c
	た	わ	体		繰
	め	る	像		
	の	と	が	繰	到達
	最	い	見		繰
	適	う	え		
16解	こ	る		繰	d
	と	よ			繰
	。	う			
		に		繰	(とうさつ)
		な			繰
40					

〔問1〕国語 (一)②二点 (二)③④各三点 他各一点 計十五点